（様式1）

令和7年度決算 事業体系図

所属名： 教育総務課

（単位：千円）

款	項	目	事業番号	事業名	最終予算現額	決算額
9　教育費	1　教育総務費	1　教育委員会費	243	教育委員会費	2,201	2,068
				小計	**2,201**	**2,068**
9　教育費	1　教育総務費	2　事務局費	245	教育委員会事務局費	36,670	35,341
			246	ALT配置事業	7,870	7,632
			247	進学支援事業	8,240	5,060
			1533	ICT教育推進事業	76,628	76,337
			1125	琴浦Myスター☆推進事業	2,510	1,494
				小計	**131,918**	**125,864**
9　教育費	2　小学校費	1　学校管理費	256 等	一般経常経費（小学校）	81,703	78,308
				小計	**81,703**	**78,308**
9　教育費	2　小学校費	2　教育振興費	262 等	一般教育振興費（小学校）	23,974	20,269
				小計	**23,974**	**20,269**
9　教育費	3　中学校費	1　学校管理費	277 等	一般経常経費（中学校）	123,414	92,907
				小計	**123,414**	**92,907**
9　教育費	3　中学校費	2　教育振興費	280 等	一般教育振興費（中学校）	33,003	25,057
			1651	中学生国際交流事業	2,440	2,039
				小計	**35,443**	**27,096**
9　教育費	5　保健体育費	4　給食センター運営費	353	学校給食事業	279,438	261,775
				小計	**279,438**	**261,775**
				所属合計	**678,091**	**608,287**

令和7年度　事業成果説明書　兼　評価書

事業番号	243	事業名	教育委員会費	会計区分	一般会計
担当課	教育総務課	担当係	総務係		□新規　■継続
予算区分	款	9　教育費	項	1　教育総務費	目	1　教育委員会費
まちづくりビジョン	（2）子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり		① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進		
	重点事業				

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他（収入）	町債	一般財源
令和7年度	2,201	2,068	0	0	0	0	2,068

事業の目的（なんのために）	教育委員会を開催し、教育行政における重要・基本的事項の協議・決定及び事務執行状況の監視・評価を行い、広く地域住民の意向を反映した教育行政を実現します。

細事業等	内容	決算額（千円）	財源内訳
教育委員会運営	月１回の定例会及び必要に応じて開催する臨時会において、必要事項を決定しました。 学校訪問のほか学校行事や地域行事等への参加を通じて、学校や地域の実情、課題の的確な把握に努めるとともに、学校現場の諸課題や地域課題に関する各種研修に積極的に参加しました。 総合教育会議における意見交換により、教育行政に関する方向性などについて町長との連携強化に努めました。 ・委員報酬　1,944千円 ・費用弁償　41千円 ・消耗品　11千円 ・負担金　65千円 ・使用料　7千円	2,068	単町
合計		2,068	

事業の主な実施状況

■R7年度教育委員会の主な活動状況

教育委員会の会議　13回　　総合教育会議　1回

※会議資料、会議録については、町ホームページで公開

■その他の活動状況

（1）学校計画訪問（小中学校　7回）

・授業参観を行ったのち、各校等の運営方針や取組み状況についての聴取及び教職員との意見交換等

（2）町内会議・行事等への参加

・教職員宣誓式、小中学校入学式・卒業式、その他行事

（3）研修・視察・調査等

・5/28　東伯地区教育委員連絡協議会

・7/10　鳥取県市町村教育委員会研究協議会

・7/17　中国地区市町村教育委員会連合会研修大会

・1/31　市町村（学校組合）教育委員会委員等研修会

事業目的の達成状況

担当課による評価	S　目的達成

【前年度の課題の概要】
教育現場の状況把握に努めるとともに、各研修会等を通じて見識を広げ、今後の町教育行政のあり方について議論を深めていきます。

【前年度課題についての対応及び成果】
町内各学校への計画訪問や行事参加、各種研修会への参加等を通じて、子どもたちの学習環境の把握に努めました。
また、教育委員会にて、教育行政の課題について協議を行いました。

【担当課による評価の理由】
教育環境や児童生徒の状況、教育行政における課題などの把握に努め、教育委員会を適宜開催して協議を行いました。

今後の取り組みの方向

引き続き教育現場の状況把握に努めるとともに、各研修会等を通じて見識を広げ、今後の町教育行政のあり方について議論を深めていきます。

令和7年度　事業成果説明書　兼　評価書

事業番号	245	事業名	教育委員会事務局費			会計区分	一般会計
担当課	教育総務課			担当係	総務係		□新規　■継続
予算区分	款	9　教育費		項	1　教育総務費	目	2　事務局費
まちづくりビジョン	（2）子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進			
	重点事業						

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他（収入）	町債	一般財源
令和7年度	36,670	35,341	0	364	2,620	10,000	22,357

事業の目的（なんのために）	町立小中学校教職員の健康管理のほか県内全市町村で使用する校務システム環境の整備など、町内の小中学校全般に関わる事務を行うことで義務教育環境を整えます。 鳥取県基準による少人数学級を実現するとともに、不登校児童生徒の支援を行います。

細事業等	内容	決算額（千円）	財源内訳
義務教育環境の整備	教職員の校務用PCシステム環境の整備や、町内児童生徒全般に関わる事務を行いました。 ・少人数学級協力負担金　10,000千円 ・学校医等公務災害補助事務負担金　110千円 ・教育ネットワーク保守委託料　2,640千円 ・校務用PC、プリンター等リース料　15,035千円 ・就学指導推進協議会負担金　36千円 ・中部子ども支援センター負担金　1,964千円 ・郡小・中学校負担金　285千円 ・学校業務支援システム負担金　2,294千円 ・通信運搬費（学校公用携帯）　253千円 ・手数料　91千円 ・使用料　1千円 ・聖郷小学校門脇教育図書購入基金利子積立金　19千円	32,728	過疎対策事業債10,000、ふるさと未来夢基金繰入金1,964、基金利子20、町20,744
教職員の健康管理	町内の学校に勤務する教職員に対し健康診断等を実施しました。 ・健康診断実施手数料　1,091千円 ・教職員ストレスチェック手数料　35千円 ・産業医面接指導委託料　20千円	1,146	単町
就学支援診断書料助成事業	東伯郡就学指導委員会での審査に必要な診断書の取得に係る費用の一部を助成しました。 ・琴浦町就学支援診断書料補助金　44千円 助成対象：審査に必要な診断書料 助成内容：診断書料の全額（上限3,000円/件）	44	単町
フリースクール利用料助成事業	フリースクール利用料の一部を助成しました。 ・琴浦町フリースクール利用料補助金　1,058千円 助成対象：授業料等、交通費 助成金額：授業料等の全額（上限30千円/月）、交通費全額（公共交通機関）	1,058	県364、ふるさと未来夢基金繰入金636、町58
教育委員会事務局運営費	事務局の運営を行う。 ・普通旅費　78千円 ・教育長交際費　15千円 ・消耗品　197千円 ・燃料費　57千円 ・通信運搬費　5千円 ・自動車保険料　13千円	365	単町
合計		35,341	

事業の主な実施状況

■少人数学級の実現

・鳥取県基準による少人数学級の実現により、子どもたちの学びやすい環境を整えるとともに、教員の学級経営の負担軽減を図りました。

（5クラスが該当：浦安小3年・4年、赤碕小5年・6年、東伯中2年）

配置基準	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
国基準	35						40	40	
県基準	30						33	35	

■教職員校務環境の整備

	・校務用パソコン機器のほか学校業務専用ネットワーク回線及び県下統一の学校業務支援システムに係る経費を負担し、教職員の業務負担軽減を図りました。 ・教職員の健康診断及びストレスチェック等を実施し、適切な健康管理を図りました。 ■学習支援員等の配置（別事業） ・各学校に学習支援員、部活動指導員、日本語学習支援員、外国語活動支援員など必要な職員を配置、教育総務課にスクール・ソーシャル・ワーカー、特別支援教育コーディネーターを配置し、児童生徒の学習環境の充実を図りました。 ■保護者への経済的支援 ・フリースクール利用料や就学指導に係る診断書料に対する助成を行い、保護者負担の軽減を図りました。
事業目的の達成状況	担当課による評価　S　目的達成 **【前年度の課題の概要】** 多様化する教育ニーズに対応し教職員の負担軽減を図るために、必要な環境整備を継続して行います。 また、県費負担教職員の増員、処遇改善等について、継続して国や県に働きかけを行います。 **【前年度課題についての対応及び成果】** 県基準による学級編成を行うことで、少人数学級を実現しました。 また、日本語支援や特別な支援を必要とする児童生徒にきめ細かな対応ができるよう、学習支援員等の配置を適切に行いました。 **【担当課による評価の理由】** 少人数学級の実現に加えて学習支援員をはじめとする必要な職員を配置することで、多様化するニーズに対応する学校現場の負担軽減を図ることができました。
今後の取り組みの方向	多様化する教育ニーズに対応し教職員の負担軽減を図るために、必要な環境整備を継続して行います。 また、県費負担教職員の増員、処遇改善等について、継続して国や県に働きかけを行います。

令和7年度　事業成果説明書　兼　評価書

事業番号	246	事業名	ALT配置事業	会計区分	一般会計
担当課	教育総務課	担当係	総務係		□新規　■継続
予算区分	款	9　教育費	項	1　教育総務費	目	2　事務局費
まちづくりビジョン	（2）子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり		④ グローバルな社会で活躍できる人材の育成		
	重点事業				

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他（収入）	町債	一般財源
令和7年度	7,870	7,632	0	0	0	5,600	2,032

事業の目的（なんのために）	学校生活の中で外国語や外国文化に興味を持つきっかけを作ることで、外国語に対して苦手意識を持つことなく、コミュニケーション手法の一つとしての英語力を身につけた人材を育成します。

細事業等	内容	決算額（千円）	財源内訳
中学校ALT配置事業	中学校2校にALT(JETプログラム)を配置しました。 ・ALT住居費用（家賃補助金）等　459千円 ・ALT受入及び帰国負担金　等　1,497千円	1,956	単町
小学校ALT配置事業	児童が外国語に親しむ機会とするため、小学校にＡＬＴを派遣しました。 １名のＡＬＴが町内５つの小学校を巡回。 ・ＡＬＴ派遣委託料　5,676千円	5,676	過疎対策事業債5,600、町76
合計		7,632	

事業の主な実施状況

■中学校へのALT配置

・JETプログラムを活用して東伯中学校と赤碕中学校へ1名ずつ配置しました。英語の授業をサポートするほか、校内掲示板や図書を通じて英語と親しむ機会を作るなどの活動を行いました。

東伯中学校　授業風景

赤碕中学校　授業風景

■小学校へのALT配置

・民間事業者へ委託し、ALTが町内の全小学校（5校）を巡回し、指導しました。外国語活動や外国語教科をサポートすることで、教員の負担軽減を図りました。

事業目的の達成状況

担当課による評価	S　目的達成

【前年度の課題の概要】
各校の意見や活用状況を参考に、今後の配置や活動の場を検討していきます。

【前年度課題についての対応及び成果】
JETプログラムを活用して東伯中学校、赤碕中学校に新たなALTを配置しました。
小学校においては各校の聞き取りを行い、ALTの活用状況や巡回日程など、委託事業者との連絡調整を行いました。

【担当課による評価の理由】
各中学校に常勤のALTを配置し、英語の授業や校内掲示等により生徒とのコミュニケーションを図るなどの活動を行いました。
小学校は1名のALTが5校を巡回し、児童の外国語への興味を高めることができました。

今後の取り組みの方向	東伯中の現在のALTが帰国するため、新たなALTを1名配置します。 引き続き外国語に親しむ機会を増やしていくことで児童生徒の英語力向上を図ります。

令和7年度　事業成果説明書　兼　評価書

事業番号	247	事業名	進学支援事業		会計区分	一般会計
担当課	教育総務課		担当係	総務係		□新規　■継続
予算区分	款	9　教育費	項	1　教育総務費	目	2　事務局費
まちづくりビジョン	（2）子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			④ グローバルな社会で活躍できる人材の育成		
	重点事業					

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他（収入）	町債	一般財源
令和7年度	8,240	5,060	0	2,359	2,281	0	420

事業の目的（なんのために）	高校への通学にかかる経費負担を軽減し、修学機会の拡大を図ります。

細事業等	内容	決算額（千円）	財源内訳
高校生等通学費補助事業	町内の高校生等がＪＲや路線バス、琴浦町営バスを利用する通学費の一部を助成しました。 ・高校生通学費補助金　4,686千円 　対　象：ＪＲ通学定期券代、バス定期代（一部） 　助成額：月額7,000円を超える額 ・高校生町内バス通学費補助金　93千円 　対　象：琴浦町営バス通学定期券代 　助成額：定期券代の8割	4,779	県2,359、ふるさと未来夢基金繰入金2,000、町420
林原育英奨学資金貸付事業	・基金積立金　240千円 ・基金利子積立金　41千円	281	林原育英基金281
合計		5,060	

事業の主な実施状況

■高校生等の通学費支援

（1）高校生等通学費補助金（109人）

・高校への通学費の一部を助成し、保護者の負担軽減を図りました。

助成金額：JR及びバス定期代のうち月7,000円を超える額

※バス定期券は倉吉西、倉吉農、米子高、米子高専に限る

（2）高校生町営バス通学費補助金（5人）

・対象地域に居住する高校生に対して琴浦町営バスの定期代の8割を助成し、保護者の負担軽減を図りました。

■林原育英奨励資金の貸付

・令和7年度は貸付希望者がありませんでした。

事業目的の達成状況

担当課による評価	S　目的達成

【前年度の課題の概要】
申請の簡素化、保護者負担の軽減のため電子申請の導入を進めます。

【前年度課題についての対応及び成果】
申請の簡素化、保護者負担の軽減のため電子申請を導入しました。

【担当課による評価の理由】
高校生等通学費補助金の電子申請を導入し、保護者負担の軽減に繋げました。

今後の取り組みの方向

今後は電子申請の活用を推進するため、窓口来庁者への制度周知に努めます。

令和7年度　事業成果説明書　兼　評価書

事業番号	1533	事業名	ICT教育推進事業	会計区分	一般会計
担当課	教育総務課	担当係	総務係		□新規　■継続
予算区分	款	9　教育費	項	1　教育総務費	目	2　事務局費
まちづくりビジョン	（2）子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり		③ ICT を活用した個別最適な学びの提供		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開			

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他（収入）	町債	一般財源
令和7年度	76,628	76,337	0	49,494	18,400	0	8,443

事業の目的（なんのために）	すべての子ども達の可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、ICTを活用した教育を推進します。

細事業等	内容	決算額（千円）	財源内訳
学習者用タブレット端末等整備 【新規】	第2期GIGAスクール構想として、児童生徒1人1台のタブレット端末を更新しました。 あわせて、校務用ノートPCを購入しました。 ・備品購入費　69,026千円 　ipad第11世代　1,324台 　校務用ノートPC 3台	69,026	県48,546、ふるさと未来夢基金繰入金18,400、町2,080
ICT活用環境整備 【改善】	ICTを活用した学習を効果的に進めるため、必要なソフトウェアの導入およびWiFi環境等のハードウェアの整備を行いました。 ・消耗品費　314千円 ・タブレット修繕料　24千円 ・モバイルルーター利用料　842千円 ・TCC回線利用料　554千円 ・ソフトウェア使用料　2,924千円 ・校内WiFi機器リース料　2,653千円	7,311	県948、町6,363
合計		76,337	

事業の主な実施状況

■ICTの活用

・学習支援ソフト（ロイロノート、ドリルパーク）を活用した授業を各校で展開しました。子どもたちが自分の考えをまとめたり、グループワーク、課題提出、学習ドリルなどを活用しました。

・タブレット端末のセキュリティサービス導入、モバイルルーター貸出により、児童生徒がタブレットを持ち帰って学習できる環境を整備しました。

・各中学校区に１人ずつICT支援員を配置し、教員のICT活用に向けた支援を行いました。

・中学校で採点支援ソフトを活用し、採点業務の負担軽減を行いました。

■教職員研修の実施

・浦安小、赤碕小は、県ICT活用教育推進事業として柏市教育委員会 教育研究専門アドバイザー 西田 光昭　氏より指導を受けました。両校の授業研究会には、町内小中学校の教員も参加し、自校での研修に活かしました。

■第2期GIGAタブレット端末の更新

・令和7年8月に児童生徒用端末としてiPad（第11世代）の更新を行いました。

■校内WiFi機器の更新

・校内WiFi機器（ルーター、スイッチ、ネットワーク管理ソフト）の更新リースを行いました。

事業目的の達成状況

担当課による評価	S　目的達成

【前年度の課題の概要】
夏休み中に新しい端末への更新を行います。
授業や家庭学習などにおける更なるICTの利活用について、事例紹介やICT支援員によるサポート等を進めます。

【前年度課題についての対応及び成果】
児童生徒用のタブレット端末を更新しました。
中部地区での導入実績が多い学習支援ソフト（ロイロノート）を採用し、教員が異動した際に教材資料を作成する負担を軽減しました。
ICT教育についての研修を実施し、教員のスキル向上を図ることができました。

【担当課による評価の理由】
学校におけるICT環境の整備を滞りなく進めることができました。
研修を通じて教員のスキル向上につなげることができました。

今後の取り組みの方向	授業や家庭学習などにおける更なるICTの利活用について、事例紹介やICT支援員によるサポート等を進めます。 校務DXによる教員の働き方改革を進めます。

令和7年度　事業成果説明書　兼　評価書

事業番号	1125	事業名	琴浦Myスター☆推進事業	会計区分	一般会計
担当課	教育総務課	担当係	指導係		□新規　■継続
予算区分	款　9　教育費	項	1　教育総務費	目	2　事務局費
まちづくりビジョン	（2）子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり		② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開			

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他（収入）	町債	一般財源
令和7年度	2,510	1,494	0	294	900	0	300

事業の目的（なんのために）	琴浦町のふるさと教育（琴浦Myスター☆）を通して、地域への愛着や誇り、豊かな人間性や社会性を育み、地域の一員としての自覚を促していきます。 学校、保護者、地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒になって子どもたちの成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進めます。

細事業等	内容	決算額（千円）	財源内訳
琴浦Myスター☆事業	各学校で特色ある学習活動や取組を積み重ねていくことで、地域への愛着や誇り、豊かな人間性や社会性を育み、地域の一員としての自覚を促しました。 ・報償金　202千円 ・消耗品費　10千円 ・使用料　188千円 ・保険料　44千円 ・借上料　400千円	844	県94、ふるさと未来夢基金繰入金750
コミュニティ・スクール推進事業	学校が地域住民等と目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育てる『地域とともにある学校づくり』を進めました。 学校運営協議会の開催及び委員研修や意見交換を行うなど、学校それぞれの取組を支援しました。 ・学校運営協議会委員報酬　350千円 ・地域コーディネーター報償金　152千円 ・学校支援ボランティア消耗品費　26千円 ・学校支援ボランティア保険料　122千円	650	県200、ふるさと未来夢基金繰入金150、町300
合計		1,494	

事業の主な実施状況

■琴浦Myスター☆の取組

・各校が地元の特徴を活かした独自のふるさと教育を考え、実践しました。学習や体験を通して地域への愛着や誇りを深め、将来を担う人材の育成を進めました。

・琴浦Myスター☆を浸透させるため、町報に記事を連載し、各校独自のふるさと教育を紹介しました。

浦安小：ゲストティーチャーの講演

聖郷小：むかしのあそび

八橋小：梨栽培体験

赤碕小：化粧川探検

船上小：新聞を活用した教育(NIE)

東伯中：生徒ボランティア活動

赤碕中：出かける赤中

■コミュニティ・スクールの推進

・町立学校全７校で、学校運営協議会を開催し、地域や家庭の代表となる委員の皆さんとともに、めざす子ども像やそのための取組みなどについて熟議を重ねました。

・各校学校運営協議会長、校長、外部有識者によるコミュニティ・スクール連絡協議会を開催し、各校の取組状況の共有や意見交換などを行いました。

事業目的の達成状況	担当課による評価	S　目的達成

【前年度の課題の概要】
「琴浦Myスター☆」を浸透、発展させ、各校が地元の特徴を活かした取り組みを考え、実践していくことで、地域の将来を担う人材の育成をすすめていきます。
地域とともにある学校づくりに向けた各校の取り組みが一層推進されるよう、引き続きコミュニティ・スクール連絡協議会を開催し、各校の情報交換や研修会など、学校運営協議会への情報提供等に努めます。

【前年度課題についての対応及び成果】
各校独自の課題解決の取組み、各校の特徴的な取り組みを行うことができました。 また、「琴浦Myスター☆」周知のため、広報ことうらに各校の取り組みを連載しました。
コミュニティ・スクール連絡協議会を開催し、各校の情報交換と研修会を行いました。

【担当課による評価の理由】
各校の校長先生とそれぞれの学校が目指す子ども像やそれに向けた取り組みについて、担当課と共有して事業を進めることができました。

今後の取り組みの方向	「琴浦Myスター☆」を浸透、発展させ、各校が地元の特徴を活かした取り組みを考え、実践していくことで、地域の将来を担う人材の育成をすすめていきます。 引き続き、地域とともにある学校づくりが一層推進されるよう、情報交換や研修会など学校運営協議会へのサポートを行います。

令和7年度　事業成果説明書　兼　評価書

事業番号	256等	事業名	一般経常経費（小学校）	会計区分	一般会計
担当課	教育総務課	担当係	総務係		□新規　■継続
予算区分	款	9　教育費	項	2　小学校費	目	1　学校管理費
まちづくりビジョン	（2）子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり		② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり		
	重点事業				

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他（収入）	町債	一般財源
令和7年度	71,385	69,090	0	0	2,978	0	66,112
令和7年度(明許)	10,318	9,218	0	0	0	8,700	518

事業の目的（なんのために）	小学校の運営を円滑にするために全体的な運営に係る事業及び施設整備、環境整備を行います。

細事業等	内容	決算額（千円）	財源内訳
小学校施設管理	学校施設の適切な維持管理を行いました。 ・小学校除雪謝礼　238千円 ・船上小学校プール更衣室横梁等修繕工事　990千円 ・八橋小学校引込高圧ケーブル更新工事　891千円 ・浦安小学校放送設備更新工事　1,408千円 ・光熱水費　4千円 ・小学校施設修繕料　5,622千円 ・手数料　239千円 ・火災保険料　1,006千円 ・警備、消防、電気設備施設管理委託料　2,762千円 ・学校環境管理委託料　3,513千円 （芝、剪定、防虫、除草、トイレ、除雪、伐採等） ・複合機、印刷機等リース料　1,639千円 ・テレビ受信料　80千円 （R6→R7繰越事業　9,218千円） 老朽化した浦安小学校の木造倉庫の解体を行い、倉庫を再設置しました。 ・浦安小学校倉庫解体工事　6,930千円 ・浦安小学校倉庫設置工事　1,485千円 ・浦安小学校倉庫解体工事監理委託料　803千円	27,610	合併特例債8,700、ふるさと未来夢基金繰入金2,300、町16,610
保健衛生関係	児童の健康診断実施及び学校環境衛生検査を実施しました。 ・嘱託医報酬　1,959千円 ・消耗品費　346千円 ・オージオメーター校正点検手数料　42千円 ・児童健康診断手数料（尿・心電図）　574千円 ・保健衛生関係借上料　41千円 ・スポーツ振興センター共済負担金　697千円	3,659	共済加入負担金301、町3,358
通学支援事業	通学が遠距離になる児童に対し、スクールバスの運行や通学援助による支援を行いました。 ・スクールバス運行管理業務委託料　10,828千円 ・大成地区通学援助費　140千円	10,968	単町
八橋小学校	八橋小学校の維持管理及び環境整備を行いました。 ・消耗品費　1,024千円 ・燃料費　21千円 ・光熱水費　5,296千円 ・修繕料　163千円 ・通信運搬費　267千円 ・手数料　388千円 ・使用料　351千円 ・備品購入費　267千円	7,777	使用料92、町7,685
浦安小学校	浦安小学校の維持管理及び環境整備を行いました。 ・消耗品費　1,411千円 ・燃料費　72千円 ・光熱水費　4,864千円 ・修繕料　488千円 ・通信運搬費　273千円 ・手数料　549千円 ・使用料　200千円	7,857	使用料96、町7,761
聖郷小学校	聖郷小学校の維持管理及び環境整備を行いました。 ・消耗品費　960千円 ・燃料費　26千円 ・光熱水費　4,620千円	6,747	使用料108、町6,639

	・修繕料　309千円 ・通信運搬費　256千円 ・手数料　467千円 ・使用料　109千円		
赤碕小学校	赤碕小学校の維持管理及び環境整備を行いました。 ・消耗品費　1,192千円 ・燃料費　47千円 ・光熱水費　5,233千円 ・修繕料　161千円 ・通信運搬費　267千円 ・手数料　418千円 ・使用料　211千円	7,529	使用料33、町7,496
船上小学校	船上小学校の維持管理及び環境整備を行う。 ・消耗品費　923千円 ・燃料費　25千円 ・光熱水費　3,968千円 ・修繕料　142千円 ・通信運搬費　243千円 ・手数料　461千円 ・使用料　96千円 ・備品購入費　303千円	6,161	使用料48、町6,113
合計		78,308	

事業の主な実施状況

■浦安小学校の倉庫解体（R6繰越事業）

・老朽化した浦安小学校の倉庫の解体と再設置を行いました。

解体前の倉庫

新たに設置した倉庫

■各小学校の修繕（主なもの）

・八橋小学校（高架水槽劣化防止塗装、パントリー吊り戸修繕、体育館北側軒天修繕、校内放送設備修繕）

・浦安小学校（通路アスファルト舗装修繕）

・聖郷小学校（親時計・トイレ呼出表示盤修繕、理科室・パントリー・ボランティアルーム空調修繕）

・赤碕小学校（音楽室・職員室・玄関ドア修繕、給水ポンプ取替、渡り廊下屋根修繕）

・船上小学校（給水ポンプ制御盤修繕）

■各小学校の備品（主なもの）

・八橋小学校（体育館用アンプ一式、配膳台）

・船上小学校（オフィスチェア、シューズロッカー）

事業目的の達成状況

担当課による評価	S　目的達成

【前年度の課題の概要】
年次計画に基づき空調、トイレ洋式化、LED化の施設設備の整備を行うとともに、適切な維持管理を進めていきます。

【前年度課題についての対応及び成果】
各学校施設、設備の状況把握を行い、優先順位をつけながら適切な維持管理に努めました。

【担当課による評価の理由】
適切な維持管理を行うことができました。

今後の取り組みの方向

年次計画に基づき、空調、トイレ洋式化、LED化の施設設備の整備を行うとともに、適切な維持管理を進めていきます。

令和7年度　事業成果説明書　兼　評価書

事業番号	262等	事業名	一般教育振興費（小学校）	会計区分	一般会計
担当課	教育総務課	担当係	総務係		□新規　■継続
予算区分	款	9　教育費	項	2　小学校費	目	2　教育振興費
まちづくりビジョン	（2）子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり		① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開			

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他（収入）	町債	一般財源
令和7年度	23,974	20,269	1,210	0	1,461	7,050	10,548

事業の目的（なんのために）	教育振興のため、教材・図書等の教育環境を整備し、学力及び体力の向上を目指します。

細事業等	内容	決算額（千円）	財源内訳
就学援助等	経済的理由によって義務教育を受けることが困難な児童生徒の保護者や、特別支援学級等に在籍する児童生徒の保護者に対し支援を行いました。 ・就学援助費　7,072千円 ・特別支援教育就学奨励費　1,370千円	8,442	国685、過疎対策事業債7,050、町707
教育備品購入事業 【新規】	寄附金を活用して、各小中学校に教育備品を購入しました。 ・備品購入費　1,001千円	1,001	寄附金725、町276
医療的ケア看護職員配置事業 【新規】	医療的ケアを必要とする児童への対応のため、看護職員の派遣を民間事業者に委託しました。 ・看護師派遣委託料　1,795千円	1,795	国525、町1,270
教育活動等助成	教育振興のため各種補助金等による支援を行いました。 ・修学旅行引率者補助金　43千円 ・バス借上料　494千円 ・負担金　8千円	545	単町
文化芸術事業	児童へ文化芸術を鑑賞する機会を提供しました。 ・巡回公演委託料　279千円	279	単町
八橋小学校	児童、教職員に対する講演会及び研修会を実施しました。 また、学習に係る備品消耗品等を購入しました。 ・報償金　20千円 ・消耗品　511千円 ・修繕料　48千円 ・手数料　364千円 ・備品購入費　92千円 ・図書購入費　364千円 ・通級指導教室消耗品費　80千円	1,479	単町
浦安小学校	児童、教職員に対する講演会及び研修会を実施しました。 また、学習に係る備品消耗品等を購入しました。 ・報償金　136千円 ・消耗品費　756千円 ・修繕料　53千円 ・手数料　487千円 ・備品購入費　127千円 ・図書購入費　446千円	2,005	単町
聖郷小学校	児童、教職員に対する講演会及び研修会を実施しました。 また、学習に係る備品消耗品等を購入しました。 ・報償費　171千円 ・消耗品　458千円 ・修繕料　72千円 ・手数料　220千円 ・備品購入費　432千円 ・図書購入費　173千円	1,526	図書購入基金173、町1,353
赤碕小学校	児童、教職員に対する講演会及び研修会を実施しました。 また、学習に係る備品消耗品等を購入しました。 ・報償金　155千円 ・消耗品費　577千円 ・修繕料　90千円 ・手数料　407千円 ・備品購入費　182千円 ・図書購入費　391千円	1,802	図書購入基金225、町1,577
船上小学校	児童、教職員に対する講演会及び研修会を実施しました。 また、学習に係る備品消耗品等を購入しました。 ・報償金　72千円 ・消耗品費　457千円	1,395	図書購入基金338、町1,057

	・修繕料　81千円 ・手数料　251千円 ・備品購入費　289千円 ・図書購入費　245千円		
合計		20,269	

事業の主な実施状況

■町内事業所等からの寄附金による各小学校の備品購入

浦安小・赤碕小・船上小　大型ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ

聖郷小学校　オルガン

八橋小学校　シロフォン

事業目的の達成状況

担当課による評価	S　目的達成

【前年度の課題の概要】

―

【前年度課題についての対応及び成果】

―

【担当課による評価の理由】

教材・図書等の整備や教職員への研修を通して、教育振興と教育の質の向上に努めました。

今後の取り組みの方向

引き続き、必要な環境整備を通して教育振興と教育の質の向上に努めます。

令和7年度　事業成果説明書　兼　評価書

事業番号	277等	事業名	一般経常経費（中学校）	会計区分	一般会計
担当課	教育総務課	担当係	総務係		□新規　■継続
予算区分	款	9　教育費	項	3　中学校費	目	1　学校管理費
まちづくりビジョン	（2）子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり		② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり		
	重点事業				

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他（収入）	町債	一般財源
令和7年度	60,919	37,065	480	0	3,125	4,200	29,260
令和7年度(明許)	62,495	55,842	15,684	0	0	37,700	2,458

事業の目的（なんのために）	中学校の運営を円滑にするために全体的な運営に係る事業及び施設整備、環境整備を行います。

細事業等	内容	決算額（千円）	財源内訳
中学校施設管理	学校施設の適切な維持管理を行いました。 ・東伯中学校パントリー空調新設工事　1,980千円 （※技術室、生徒活動室の空調新設21,613千円は、R8年度に繰越） ・東伯中学校プール修繕工事　2,453千円 ・東伯中学校技術室等空調新設設計委託料　2,838千円 ・東伯中学校体育館空調基本計画業務発注資料作成　132千円 ・中学校施設修繕料　636千円 ・手数料　14千円 ・火災保険料　779千円 ・警備、消防、電気、エレベータ等保守委託料　2,411千円 ・学校施設環境管理委託料　1,048千円 （芝、剪定、防虫、除草、清掃、除雪等） ・複合機、印刷機等リース料　676千円 ・テレビ受信料　30千円 （R6→R7繰越事業） ・赤碕中学校高圧ケーブル更新工事　1,265千円 ・東伯中学校特別教室棟空調更新工事　28,930千円 ・赤碕中学校特別教室棟空調更新工事　24,250千円 ・空調更新工事発注図書及び変更設計書作成委託料　1,397千円	68,841	国16,164、ふるさと未来夢基金繰入金2,400、過疎対策事業債4,200、合併特例債19,100、学校教育施設等整備事業債18,600、町8,377
保健衛生事業	生徒の健康診断実施や学校環境衛生検査を実施する。 ・嘱託医報酬　714千円 ・消耗品費　42千円 ・生徒健康診断（尿・心電図）　322千円 ・オージオメーター校正点検手数料　15千円 ・スポーツ振興センター共済負担金　369千円 ・保健衛生関係借上料　13千円	1,475	町1,318、その他157
通学支援事業	通学が遠距離になる生徒に対し、町営バス補助金等による支援を行いました。 ・遠距離通学補助金　1,594千円 ・スクールバス臨時運行業務委託料　39千円	1,633	単町
共同学校事務室	東伯中学校内に共同学校事務室を設置することで、学校事務の平準化、業務処理の効率化及び適正化を図り、教職員の負担軽減に繋げました。 また、共同作業によるOJTで事務職員の育成を図りました。 ・消耗品費　77千円 ・印刷製本費　75千円 ・通信運搬費　11千円 ・筆耕料　109千円 ・学校徴収金システム使用料　401千円	673	単町
東伯中学校	東伯中学校の維持管理及び環境整備を行う。 ・消耗品　1,407千円 ・燃料費　47千円 ・印刷製本費　22千円 ・光熱水費　7,697千円 ・修繕料　148千円 ・通信運搬費　428千円 ・手数料　501千円 ・使用料　215千円 ・備品購入費　617千円	11,082	使用料383、町10,699
赤碕中学校	赤碕中学校の維持管理及び環境整備を行う。 ・消耗品費　1,244千円 ・燃料費　63千円	9,203	使用料185、町9,018

	・印刷製本費　42千円 ・光熱水費　6,105千円 ・修繕料　381千円 ・通信運搬費　291千円 ・手数料　411千円 ・使用料　227千円 ・備品購入費　439千円		
合計		92,907	

事業の主な実施状況

■中学校の空調整備（R6繰越事業及びR7事業）

・東伯中学校の空調整備（職員室、小会議室、校長室、事務室、会議室、保健室、音楽室、大会議室、サポート教室、パントリー）

保健室（更新）

サポート教室（更新）

パントリー（新設）

・赤碕中学校の空調整備（美術室、職員室、事務室、校長室、保健室、音楽室、会議室、礼法室、相談室、多目的室１、多目的室２）

美術室（更新）

音楽室（更新）

保健室（更新）

■各中学校の修繕（主なもの）

・赤碕中学校（３階特別教室エアコン修繕、遮光カーテン設置、体育館北側手すり修理、１年Ｂ組教室エアコン修繕）

■各中学校の備品（主なもの）

・東伯中学校（学習者用机椅子、折りたたみ椅子、美術室学習机）

・赤碕中学校（学習者用机椅子、オフィスチェア）

事業目的の達成状況

担当課による評価	S　目的達成

【前年度の課題の概要】
年次計画に基づき空調、トイレ洋式化、LED化の施設設備の整備を行うとともに、適切な維持管理を進めていきます。

【前年度課題についての対応及び成果】
各学校施設、設備の状況把握を行い、優先順位をつけながら適切な維持管理に努めました。
年次計画に基づき東伯・赤碕中学校の空調整備を進めました。

【担当課による評価の理由】
適切な維持管理を行うことができました。

今後の取り組みの方向

年次計画に基づき空調、トイレ洋式化、LED化の施設設備の整備を行うとともに、適切な維持管理を進めていきます。

令和7年度　事業成果説明書　兼　評価書

事業番号	280等	事業名	一般教育振興費（中学校）	会計区分	一般会計
担当課	教育総務課	担当係	総務係		□新規　■継続
予算区分	款	9　教育費	項	3　中学校費	目	2　教育振興費
まちづくりビジョン	（2）子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり		① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開			

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他（収入）	町債	一般財源
令和7年度	33,003	25,057	359	152	8,994	7,550	8,002

事業の目的（なんのために）	教育振興のため、必要な環境整備その他の施策を講じます。

細事業等	内容	決算額（千円）	財源内訳
教師用指導書等購入事業【新規】	令和７年度中学校教科書改訂に伴い、教師用指導書等を購入しました。併せて全教科を対象にデジタル教科書を購入しました。 ・備品購入費　6,163千円 寄附金を活用して教育備品を購入しました。 ・備品購入費　412千円	6,575	ふるさと未来夢基金繰入金6,150、寄附金294、町131
就学援助等	経済的理由によって義務教育を受けることが困難な児童生徒の保護者又は特別支援学級等に在籍する児童生徒の保護者に対し支援を行いました。 ・就学援助費　7,584千円 ・特別支援教育就学奨励費　718千円	8,303	国359、過疎対策事業債7,550、町393
部活動指導支援事業	地域の専門的指導者を外部指導者として部活動に派遣しました。 ・部活動外部指導者報償金　300千円 ・保険料　4千円	304	県152、町152
教育活動等助成	教育振興のため各種補助金等による支援を行いました。 ・修学旅行引率者補助金　187千円 ・大会派遣補助金　321千円 ・バス借上料　1,758千円 ・負担金　172千円	2,438	ふるさと未来夢基金繰入金450、町1,988
東伯中学校	生徒及び教職員に対して講演会や研修会を実施しました。 また、学習や通級指導教室に係る備品消耗品等を購入しました。 ・報償金　139千円 ・消耗品費　1,389千円 ・修繕料　195千円 ・手数料　957千円 ・備品購入費　847千円 ・図書購入費　763千円 ・消耗品（通級指導教室）　40千円	4,330	ふるさと未来夢基金繰入金1,200、町3,129
赤碕中学校	生徒及び教職員に対して講演会や研修会を実施しました。 また、学習に係る備品消耗品等を購入しました。 ・消耗品費　1,135千円 ・修繕料　190千円 ・手数料　619千円 ・備品購入費　567千円 ・図書購入費　596千円	3,107	ふるさと未来夢基金繰入金900、町2,207
合計		25,057	

事業の主な実施状況	■町内事業所等からの寄附金による各中学校の備品購入

東伯中学校　集塵機

赤碕中学校　大型ディスプレイ

事業目的の達成状況	担当課による評価	S　目的達成

【前年度の課題の概要】
－

【前年度課題についての対応及び成果】
－

【担当課による評価の理由】
教材・図書等の整備や教職員への研修を通して、教育振興と教育の質の向上に努めました。

今後の取り組みの方向	引き続き、必要な環境整備を通して教育振興と教育の質の向上に努めます。

令和7年度　事業成果説明書　兼　評価書

事業番号	1651	事業名	中学生国際交流事業	会計区分	一般会計
担当課	教育総務課	担当係	総務係		□新規　■継続
予算区分	款　9　教育費	項	3　中学校費	目	2　教育振興費
まちづくりビジョン	（2）子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり		④ グローバルな社会で活躍できる人材の育成		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開			

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他（収入）	町債	一般財源
令和7年度	2,440	2,039	0	0	2,000	0	39

事業の目的（なんのために）	台湾の中学校との相互交流により、異なる文化に触れることで国際理解を深める足がかりとします。		
細事業等	内容	決算額（千円）	財源内訳
中学生国際交流事業	東伯・赤碕中学生が台中市日南国民中学校を訪問し、ホームステイによる交流体験を行いました。 ○訪問日程　2025年7月30日（水）～8月3日（日）4泊5日 ○訪問人数　生徒13人、引率3人、通訳1人 ・旅行手配委託業務　1,765千円 ・通訳、コーディネート謝礼　210千円 ・消耗品費等　64千円	2,039	ふるさと未来夢基金繰入金2,000、町39
合計		2,039	

事業の主な実施状況

■日南中学校への生徒派遣
日程　2025年7月30日（水）～8月3日（日）4泊5日
人数　生徒13人（東伯中8、赤碕中5）、引率3人（東伯中校長、赤碕中教師、教育総務課職員）、通訳1人

○日南中学校での交流の様子

琴浦町役場での出発式

日南中学校での歓迎式

学校交流①

学校交流②

学校交流③

赤碕中教師による交流授業

事業目的の達成状況

担当課による評価	S　目的達成

【前年度の課題の概要】
引き続き、相互交流事業により国際理解を深めるきっかけづくりを進めます。

【前年度課題についての対応及び成果】
令和7年7月に台中市立日南国民中学校に13人の生徒を派遣しました。 交流体験を通じて、外国の文化を身近に感じ、国際理解を深めることができました。

【担当課による評価の理由】
令和7年度は、日南中からの申し出により琴浦町からの派遣のみとなりましたが、無事に事業を終えることができました。

今後の取り組みの方向	引き続き、相互交流事業により国際理解を深めるきっかけづくりに取り組みます。 また、派遣生徒だけでなく学校全体で国際理解教育が深まるよう、日南中学校と連携した取り組みを検討します。

令和7年度　事業成果説明書　兼　評価書

事業番号	353	事業名	学校給食事業			会計区分	一般会計
担当課	教育総務課			担当係	学校給食センター		□新規　■継続
予算区分	款	9　教育費		項	5　保健体育費	目	4　給食センター運営費
まちづくりビジョン	（2）子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他（収入）	町債	一般財源
令和7年度	192,948	183,064	12,628	0	76,356	0	94,080
令和7年度(明許)	86,490	78,711	0	0	0	78,700	11

事業の目的（なんのために）	児童生徒の心身の健全な発達に資するよう、バランスのとれた栄養豊かな給食を提供します。 学校給食を通じて日常生活での食事について正しい理解と望ましい食習慣を養うなど、「食を通して生きる力を育む」ことを目的に、教育の一環として実施します。

細事業等	内容	決算額（千円）	財源内訳
学校給食用物資購入費 【改善】	安心安全な給食を、町内各小中学校の児童生徒等に提供しました。 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、学校給食の保護者負担の軽減を図りました。 ・給食用食材費　　91,524千円（令和６年度　90,092千円） ・給食提供人数 　小学生　　736人 　中学生　　392人 　教職員等　　196人 ・喫食数　185食／年間（一人あたり）	91,524	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金12,628、ふるさと未来夢基金繰入金10,000、学校給食費66,356、町2,540
調理、配送業務委託料	・調理業務等委託料　49,390千円 　委託内容：副食調理、配缶、食材検収保管、 　　食器食缶・調理機器洗浄消毒等 　委託期間：令和３年度～令和７年度 ・給食配送委託料　　12,783千円 　委託内容：各学校への給食の配送、車両の点検整備等 　委託期間：令和３年度～令和７年度	62,173	単町
学校給食センター設備更新業務 【改善】	導入から16年が経過する中、施設や設備の年次的な更新を行いました。 （主な内容） ・電気温水器１・２号機修繕工事　1,298千円 ・洗濯機購入　　99千円 （R6→R7繰越事業） ・食器、食缶等洗浄機システム更新（一式）　78,711千円	80,108	過疎対策事業債78,700、町1,408
食育推進事業	学校給食をとおして琴浦町のふるさと教育を実践しました。 ・琴浦町の食材をふんだんに使った「琴浦MYスター☆給食」を年３回及び給食センターの調理機器を使用した小中学生による大量調理の体験会を実施しました。 ・食材費　50千円	50	単町
学校給食センター維持管理	学校給食センター施設設備の維持管理・保守管理を継続して行いました。 （主な内容） ・学校給食運営審議会　6千円 ・施設管理消耗品　320千円 ・給食用食器購入　902千円 ・光熱水費　13,397千円 ・調理設備修繕料　7,266千円 ・検査等手数料　760千円 ・施設保守管理（消防、電気、警備、調理施設設備等）2,519千円 ・下水道使用料等　2,750千円	27,920	単町
合計		261,775	

事業の主な実施状況	**■給食費単価の推移（単位：円）**

区分	令和７年度（１１月以降）		令和７年度（当初）		令和６年度（１１月以降）		令和６年度（当初）	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
１食あたりの額	375円	428円	352円	398円	332円	378円	324円	368円
町負担額	90円	102円	67円	72円	47円	52円	39円	42円
保護者負担額	285円	326円	285円	326円	285円	326円	285円	326円

■年間を通して、米飯またはパン、牛乳、副菜の完全給食の提供を行いました。

・調理業務、配送業務の民間事業者と連携し、安心・安全でおいしい給食の提供を行いました。

・必要に応じてアレルギー対応食の提供を行いました。（アレルギー対応：23人　20品目）

■国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用

・国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して,学校給食費の保護者負担の軽減を図りました。

①物価高騰の影響を受け学校給食費単価が値上がりする中、本交付金の活用により保護者負担額を据置きとし、保護者の経済的負担の軽減を図りました。（交付金充当額：4,017千円）

②本交付金を活用し、10月分の学校給食費の保護者負担を全額免除することにより、物価高騰の影響を受ける子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。（交付金充当額：6,902千円）

③物価高騰の影響により学校給食で提供する米飯価格が11月から改定したことにより賄材料費を増額したが、本交付金の活用により、11月以降の給食費の保護者負担を据置きとし、子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。（交付金充当額：1,709千円）

■食育の取り組み

・毎月「食育だより」を発行し、食に関する知識や習慣などの情報発信に努めました。

・学校と学校給食センターが連携し、各小中学校ごとに食育指導等を行いました。

・地元産品の食材を活用した「琴浦ＭＹスター☆給食」を3回行い、児童生徒に町の魅力発信を行いました。

Ｒ８．３月食育だより

第１回（R7.7.3）琴浦MYスター☆給食

第２回（R7.11.5）琴浦MYスター☆給食

第３回（R8.2.10）琴浦MYスター☆給食

■『めざせ給食Myスター☆100人分の給食調理体験会』の取り組み

・児童生徒に通常は関係者以外立ち入りできない給食施設を使って、大量調理を行うことで、給食作りにおける衛生管理やチームワークの大切さを体感してもらうために開催しました。
日頃お世話になっている調理員の方々の温かさや思いに触れる機会にもなり、参加した児童生徒や保護者からも好評の催しとなりました。

日　時	令和７年７月１９日（土）　9：00～13：00
対　象	町内の小学校４～６年生及び中学生
参加者	３２名（小学生：１７名、中学生：１名、保護者：１４名）

野菜洗浄作業

あごフライ調理作業

汁配缶作業

■学校給食センターの主な設備等更新

電気温水器１・２号機修繕

食器、食缶等洗浄機システム更新

外調機修繕

洗濯機更新

事業目的の達成状況	担当課による評価	S　目的達成

【前年度の課題の概要】
・施設、調理機器等の故障（経年劣化等）について、必要な更新（修繕）を計画的に行っていきます。

【前年度課題についての対応及び成果】
・調理機器等の更新計画により、調理機器等の更新（修繕）を速やかに行いました。

【担当課による評価の理由】
・年間を通して安心・安全でおいしい給食を児童生徒に提供することができました。
・調理の委託業者及び施設の保守点検業者と連携し、計画どおりに調理機器等の更新・修繕を行うことができました。

今後の取り組みの方向	・調理業者、配送業者との委託契約に基づき、適正に業務管理を行うとともに衛生管理を徹底し、安心・安全でおいしい給食を児童生徒に提供して行きます。 ・給食施設や調理機器など更新計画により、年次的に更新・修繕を行っていきます。